



留学の実状



今、海外留学はできないって本当？

「筑波大生」として海外留学をしたいということであれば、本当です。本学では、学生の海外渡航が可能とされる地域は、外務省が発出する「感染症危険情報レベル」が1以下であることが必要であるとの指針が定められています。コロナウイルスの世界的流行により、このレベルが全世界的に2以上に引き上げられてからは、海外渡航の中止勧告を行っていますので、「留学許可証」を発行することはできません。なお、この指針は留学だけでなく私事渡航にも適用されます。

いつから海外に行かれますか？

上記の指針により、現状では「筑波大生」として海外渡航できる地域はありません。

しかしながら、2021年6月より、1年間（実渡航期間9か月以上）の協定校への交換留学については、安全面の基準と学修の必要性という基準をクリアした場合に限り、認められる可能性が出てきました！

詳細はこちらから確認してください⇒



短期の語学研修などは復活しますか？

渡航を伴う短期プログラムの実施には、「感染症危険情報レベル」が1以下となることに加え、政府による入国人数の制限や、入国後の待機指示・行動制限が緩和される必要がありますので、再開には時間がかかる見込みです。（実施に向けた募集を行うことはありますので、随時、更新情報を確認してください。）なお、オンラインでの語学研修や交流プログラムを実施していますので、是非ご参加ください。



留学準備って何をすればいいの？



現状を理解いただいたところで、将来の留学について、今から何を準備すべきかを考えてみましょう。留学準備には4つの柱があります。

1 目的と協定校選び

- ・留学の目的を明確にして、留学方法や希望協定校を絞ろう！

なぜ留学をしたいのか？留学で何をしたいのか？目的をはっきりさせることで、どこに、どんな留学をすればよいかを明確にしましょう。



留学プランナーを活用して考えよう！

2 履修計画

- ・筑波大学での履修計画を確認して、いつ留学に行くのかを決めよう！

履修計画表を記入してみると、いつ留学へ行けばよいかが見えてきます。履修のみでなく、就活も大切なポイントになります。



留学のための履修計画表

3 語学要件

- ・語学要件チェック！
早めに受験して、クリアしよう！

協定校によっては、受入れに必要な語学要件が設定されていることがあります。各協定校のウェブサイトを確認して、要件を満たした公的証明書を準備しましょう！

4 資金計画

- ・資金の準備は計画的に。
奨学金の応募は機会を逃さないこと！

留学先でも、日本と同様の生活費が必要になります。資金確保はもちろんですが、現地のレートや支払い方法（クレジットカード作成など）についても確認が必要です！

